

次世代製品を創る研究開発

独創性を大切にしながら、社会に役立ち、人々に感動と喜びを与えたい。

カシオは、世の中の少し先にあるニーズを形にする技術、さらにその先を見据えた研究開発に取り組んでいます。

デジタルカメラの新しい価値を創造するEX-F1の開発

カシオはデジタルカメラ「EXILIM」の新製品として、「EXILIM PRO EX-F1」を発売しました。決定的瞬間を逃さない秒間60枚の超高速連写、目で見えない世界をとらえる最大1,200fpsのハイスピードムービー撮影と、これまでになかったまったく新しいジャンルを創造する次世代デジタルカメラです。

目でとらえられない動きを撮る

高速 CMOS センサーとカシオ独自の LSI 技術により、スポーツなどの速い動きを容易にとらえ、運動会のゴールインなどの二度とない決定的な瞬間も、失敗なく記録に残すことができます。

「ハイスピードムービー撮影では、風船が割れて破片が裂けていく様子など、目でとらえることができなかった動きを動画に保存することができます。撮影速度を途中で変化させ、部分的にスローモーションにするといったドラマチックで楽しい撮影も可能です。機能も使いやすくてこそ、といった考えがあるので、操作性にも気を使いました。」(野嶋)

「私のお勧めは、最大1,920×1,080ピクセルのフルHDサイズで記録できる高画質動画ですね。本体にHDMI出力を備えているので、フルハイビジョンテレビに直接つないで、静止画や動画を楽しむことができます。」(小野田)

部門横断プロジェクトによる開発

前例のないコンシューマ向け超高速撮影カメラの開発にあたり、デジタルカメラの開発部門と先端技術の開発部門が組織を超えて集結、共同で開発にあたりました。

「まったく新しいジャンルのカメラということもあり、潜在的なニーズをよりの確につかむ必要がありました。まず試作機を公開して、反響を見ながら用途と機能を絞り込んでいき、ここから新たな機能も生まれました。その結果、完成度をさらに高め、カシオのデジタルカメラの技術力・開発力の粋を結集した商品ができたと思います。」(野嶋)

デジタルならではの新分野を拓きたい

「EX-F1は、単なる銀塩カメラの代わりではなく、デジタルにしかできないまったく新しい用途を提供するカメラだと考えています。カメラを「記憶する」「記録する」から、「分析する」「観察する」といった使い方へ拡大し、本質的な楽しみ方を変える可能性もっています。高価な機材を何時間かけて設置しなければ撮れなかった超高速撮影が、いつでも誰にでもできるようになることで、高価な機材が必要だった業界への普及や、今まで利用されていなかった分野への広がりも予想されます。これからも、デジタルならではの特徴を出したカメラを開発し、新しい「デジタルの視点」を、世の中に提供していきたいですね。」(小野田)



EX-F1



開発本部 QV統轄部
左：野嶋 磨
右：小野田 孝